

背景・目的

背景:「統合データベースタスクフォース報告書」(H21.5総合科学技術会議)

- ・我が国のライフサイエンス分野のデータベース統合にかかる実務や研究開発の中核機能を担うものとして「統合データベースセンター(仮称)」を整備
- ・産出されたデータを利用者の視点に立って統合化し、効率よく研究者、産業界、さらには国民に還元していく、統合データベースの構築が必要

目的:

我が国におけるライフサイエンス研究の成果が、広く研究者コミュニティに共有かつ活用されることにより、基礎研究や産業応用研究につながる研究開発を含むライフサイエンス研究全体が活性化されることを目指す。

概要

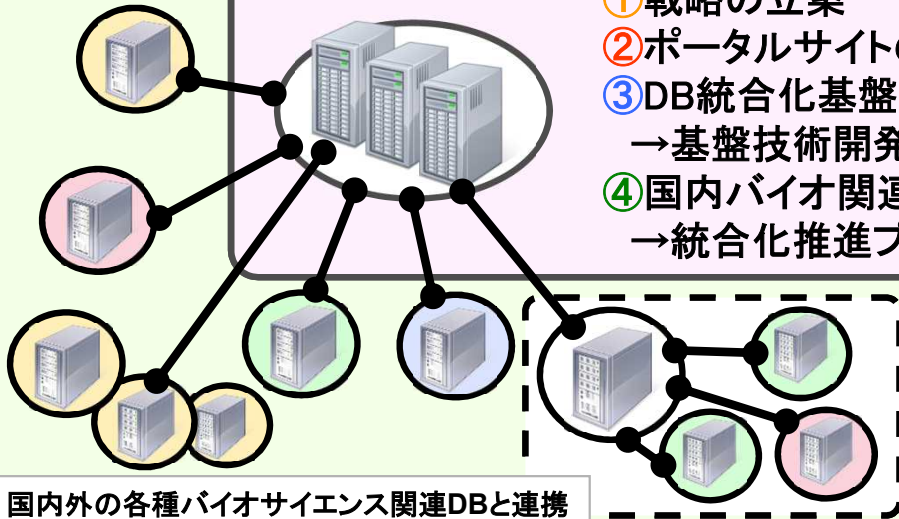
CSTP (総合科学技術会議)

助言

2011年4月1日設立。2014年4月から第二段階!

バイオサイエンスデータベースセンター
National Bioscience Database Center (NBDC)

- ①戦略の立案
- ②ポータルサイトの構築、運用
- ③DB統合化基盤技術の開発
→基盤技術開発プログラム
- ④国内バイオ関連DB統合の促進
→統合化推進プログラム



採択課題の中にヒトに関するデータを取り扱う課題が3件あり

- ・ライフサイエンス研究成果共有の実現
- ・効果的・効率的な研究推進の実現
- ・ライフサイエンス研究の活性化

①戦略の立案

- ・データベース整備、統合化の戦略企画
- ・有効なデータ、必要な技術のコーディネート
- ・データベース統合化ガイドラインの策定
- ・国内外との連携構築

②ポータルサイトの構築、運用

- ・ポータルサービスの実施
- ・横断検索サービスの実施
- ・アーカイブサービスの実施
- ・統合検索サービスの実施

③基盤技術開発プログラム

データベース統合化の実現に向けて基盤となる技術開発を行い、実装までを行うプログラム

④統合化推進プログラム

分野ごとのデータベース統合化等を通じ、国内バイオ関連DBの統合を実現するプログラム